

## 合格体験談

**Y.M.さん** Dr.Richard A. Vladovic Harbor Teacher Preparation Academy卒

●進学先：東京大学教養学部国際日本研究コース（PEAK）

●他合格先：早稲田大学国際教養学部

私は元々、帰国子女入試の小論文対策として、トフルゼミナールに通っていました。その中で、秋入学のAO入試制度がある学校を教えていただき、英語力を維持できることに魅力を感じました。また、先生に「十分可能性はある」と仰っていただけたことが受験するきっかけになりました。

出願書類を準備する際には、先生にエッセイに対する的確なアドバイスを頂けて、考えの浅い点などの改善が出来ました。

書類審査を通過後、二次審査に向けて、模擬面接をしてもらいました。それによって、自分の持っている知識をうまく、柔軟に引き出せるようになるのが大事だと感じました。実際の面接を受けて思ったのは、自分が面白いと思ったことや自分にとって印象深かったことを知識として忘れないようにすることが大切だということです。それらをつなぎ合わせて自分の考えを示す事が出来るようになれば、皆さんの大きな糧になると私は思います。

**T.H.さん**

弘学館高校卒

●進学先：東京外国語大学国際社会学部イベリア／ラテンアメリカ地域

私は推薦・一般入試を通して私はやれることを全部やりつくしたと心の底から思えた人が受験に勝つと感じました。

推薦入試は準備が足りなくて落ちてしまいましたが、一般入試は完ぺきな準備をしてから試験に臨めるようにセンター後2つのことをしました。1つは外大の過去問を同じ形式の問題がなくなる（私は2007年まで）さかのぼり、解き方やどのような順序で解いていくかイメージトレーニングをひたすらしました。2つめは読んだ英文から知らない、またはあやふやな単語をあぶりだし、自作の単語帳に書き込み毎日単語チェックを続けました。私的には市販の単語集を買うより自分がわからない単語を徹底的にまとめた単語集のほうがよっぽどいいしためになりました。

このことをやり続けたことによって試験の時に落ち着いて問題を解くことができ、合格につながったんだと思います。自分なりの方法を見つけ頑張ってください。

## 合格体験談

**F.M.さん**

**John Paul College Rotorua卒**

●進学先：九州大学教育学部

●他合格先：上智大学総合社会学部心理学科

トフルゼミナールに通学を決めた理由として、海外からでもスカイプを使用して授業を受けることができることと、入試対策の他 TOEFL などの対策も同時に行えることでした。

進学先の大学を選んだ理由は、自分が学びたい分野を勉強できる学部があったことと、取得したいと考えている資格を取得できるカリキュラムがあったことです。更に、校内の環境が非常に整っていることも決め手となりました。

受験勉強をする中で、一般入試と違って明確な答えや合格基準が存在しないため、どう勉強すればいいかわからずに模索したことが大変でした。どんな問題が来ても思考を柔軟にして答えられるように、様々な本を読んで視野を広くしようとしていました。

更に、TOEFL 対策をしたことで英文の問題文を読む際に重要な部分を早く見つけることに役立ったと思います。小論文やプレゼンテーション、グループディスカッションの対策では、明確で丁寧なきめ細かい指導だったので自分が出来ていないことをしっかり意識して改善し、自信を持って受験に望むことができました。また、担当の先生が全力で応援、サポートしてくださり、とても励みになりました。

受験勉強には終わりがなく、すぐには努力が結果に現れないこともあるので苦しくなる時が沢山あると思います。しかし、自分が今頑張っていることを信じて継続していけば必ず自分の力になるので、自信を持って頑張ってください。

**K.Y.さん**

**筑陽学園高等学校卒**

●進学先：九州大学文学部

●他合格先：青山学院大学文学部英米文学科

自分は英語が得意ではなかったのですが東京外国語大学を目指し勉強に励んでいました。しかしセンター試験で思うような結果が残せず志望校を変えました。ですが東京外国語大学合格発表に向けてトフルゼミナールでの授業を中心に英語を一生懸命頑張っていたおかげで英語力が向上し受験で英語を強みとすることができました。英語が強みになったからこそ九州大学に合格することが出来たと思います。トフルゼミナールには素晴らしい先生やレベルの高い仲間が多いのでそんな環境で勉強出来たからこそ自分の学力も向上していけました。この塾に通っている受験生のみなさんもつらい時もあるかもしれませんがこの環境があれば絶対学力が向上すると思うので自分を信じて合格に向けて頑張ってください。

## 合格体験談

**Nさん**

**佐世保北高等学校卒**

●進学先：国際教養大学国際教養学部

出願書類である自己アピール書にはかなり時間をかけて作成しました。毎日学校の先生やトフルゼミナールの先生に何度もドバイスをもらって完成させました。面接においては、実際試験を受けてみて日本語の面接ではより具体的な質問内容で、その質問に対してどれだけ掘り下げて答えることができるかをみていたように感じました。一方英語の面接では質問内容はあまり難しくありませんでした。英語の面接のためには論理的な質問だけでなく、幅広い分野や私生活に関する質問を取り扱って練習した方がより良いと思います。英語小論文においては、私は一つのテーマの小論文に二日かけていました。新しいテーマで書き、先生に添削してもらった後、もう一度同じテーマで書き直しをしていました。推薦入試等を受ける場合準備に時間がかかってしまうので一般入試の準備と両立するのは難しくなりますが、自分を信じて頑張ってください。

**H.K.さん**

**熊本北高校卒**

●進学先：熊本大学 文学部 グローバルリーダーコース

自分の志望理由書を満遍なく読み、面接でどんなことが聞かれても答えられる準備をした。私の場合英語の面接があったので英語でどう言えば伝わるかも同時に考えた。グループワークは日頃の練習で講師が言っていたポイントを意識して練習をした。受験生に対しては、とにかく落ち着いてと言いたい。

**E.R.さん**

**福岡雙葉高等学校卒**

●進学先：早稲田大学 政治経済学部

●他合格先：慶應義塾大学法学部、同大学総合政策学部

トフルゼミナールでは、グローバル入試で重視されるトフルのスコアを上げることに専念しました。参考までに、授業の復習方法を4技能に分けて紹介させていただきます。まず **Reading** は、授業で扱った文章を速読で3回読み直していました。移動中などの短時間で効果が出るのでおすすめです。**Listening** は、授業内で終わらなかった問題を家で解いたり、暇な時にCDを流したりしていました。CDは塾ですぐに借りられたので助かりました。**Speaking** は、家に帰って授業で扱った問題に再度答える練習をしました。スマホで録音してみるのも面白いです。**Writing** は、**integrated** の方はある程度テンプレートを覚えました。**independent** は文法など細部に気を取られずに、具体的な内容を文量多く書くとスコアが上がりました。以上、拙い体験談になりましたが、少しでも役立てたら嬉しいです。

## 合格体験談

H.Y.さん

九州国際大学附属高校卒

●進学先：国際基督教大学 教養学部 アーツ・サイエンス学科

●他合格先：上智大学 総合人間科学部 教育学科

受験生活を振り返ると、「果たして本当にこの対策で合格できるのか」と、常に悩んでいたと思います。帰国生入試は、一般入試のように偏差値などで自分の立ち位置や全体像を把握できないため、具体的な計画を立てにくく、到達度も測れないからです。結果発表の瞬間まで真っ暗闇の中にいるようでした。また、通っている高校の課題、定期考査や全国模試の勉強と並立して帰国生入試の対策を続けたため、入試直前は想像以上に怒涛の日々でした。入試までの時間は限られているので、早めに対策を始めることをお勧めします。

まず、小論文対策はインプットとアウトプットのバランスが大切です。私は、家族が集めてくれた教育に関する新聞記事を要約したり、小論文の市販本（人文学部 受験生用）を読み込んだり、トフルゼミナールの小論文指導の先生が添削して下さった表現やアドバイスを覚えたりして、インプットしました（個人指導をスカイプで受講）。また、入試で出題されそうなトピックを自分で想定し、時事問題にはいつも関心を寄せていました。アウトプットとしては、志望大学の過去問を解き（第一志望校は10年分）、現代文の評論の問題で要約の練習をしました。

次に、志望理由書と面接対策についてです。これらの対策は、海外経験を含めた自分の過去を振り返り、大学でどのように学び、将来に投影していくかを繋げる作業だったと思います。私は、マインドマップを使う方法をお勧めします。なぜこの大学・学部を志望するのか、なぜ将来の目標を立てているのかなど、度々「なぜ？」とツッコミを入れて掘り下げていきました。たしかに面倒ですが、この作業を続けることで深みのあるオリジナルの答えへと磨きをかけることができたと思います。

出願後には、担当カウンセラーと週一回くらいの頻度で面談を行い（スカイプにて）、学校の先生方には自分から働きかけて面接の練習をしました（学年主任を始め、文系理系を問わず教科担任の先生方と複数回）。そして、入試当日を想像して言葉を選びながら想定問答集を作りました。この準備のおかげで本番は落ち着いて受け答えできたと実感しています。

小論文や面接の試験は、大学の先生方に自分のことを知って頂けるまたとない機会です。試験当日はリラックスして自分の言葉で情熱を伝えて、合格を掴んで下さい。笑顔も大切です！応援しています。

## 合格体験談

K.T.さん

宮崎県立宮崎東高等学校卒

●進学先：上智大学国際教養学部

●他合格先：法政大学グローバル教養学部

私は高校2年次にアメリカに1年間留学していました。そこで培った英語力にさらに磨きをかけ、将来に向けてより実践的なものにするためには上智大学国際教養学部は最適な環境だと思い、この大学の進学を希望しました。

留学後トフルゼミナールにて、自分の留学経験を最大限に生かせる入試方法のアドバイスを頂き、TS online で受験対策に取り組むことにしました。通信での講座だったので、通学生と同等の効果が得られるだろうかと不安な一面もありましたが、スカイプでの丁寧なカウンセリングを通じて全面的なバックアップをしていただき、最終的に入校時よりも TOEFL のスコアを約 20 点上げ、目標点をクリアすることができました。また、志望理由書対策や面接対策なども自分が納得のいくまで何度も相談に乗ってくださり、それらを通して志望理由や将来のビジョンがより明確になっていきました。その甲斐もあり本番の試験では筆記試験と面接を通して自分の思いを伝えることができ、最終的に合格を勝ち取ることができました。感謝の気持ちでいっぱいです。

私は地方在住で周囲に同様の公募推薦、AO 入試を受けた受験経験者がおらず、入試に関しての情報がほとんどありませんでした。しかし、トフルゼミナールは長年の情報を蓄積されており、それに基づいた先生方の情報やアドバイスはとても的確で大変役に立ちました。

私は高校3年次に通信制の高校に転学をしました。以前の高校は国公立大学重視だったため受験の方針が合わず、トフルゼミナールのカリキュラムに軸を置いて受験に万全の対策で臨みたかったからです。この転学が入試での評価において不利にならないだろうかという不安もありましたが、何としてでも志望大学に受かりたいという強い思いを保ち続けられたからこそその合格だったと思います。後輩の皆さん、絶対に合格するという信念を持ち続けてれば、必ず道は開けます。皆さんの合格を心よりお祈りしています。

## 合格体験談

H.S.さん

城南高等学校卒

●進学先：上智大学外国学部英語学科

英語系・国際系の大学に進学したかったので、英語のスキルアップのためにトフルゼミナールへの進学を決めました。レベルの高い語学学習や自分の興味に基づいて自由に行える地域研究が同時にできる環境に惹かれ大学を選びました。

公募推薦の受験勉強においてはライティングに苦勞しました。もともと自分の意見を書くことが苦手だったので様々なトピックに対応できるように時事関係の本を読み、毎日1回は英作文を書く事をルールとして取り組みました。**Independent writing**の授業では毎回自分が書いたものを丁寧に添削して下さるので自分では気づかないミスに気付いたり構成のアドバイスをもらえたりしてとても役に立ちました。その他にも面接対策を日本語と英語の両方で良い意味でしつこくしていただきました。学校に通うだけではできない対策がみっちりできたおかげで合格を手にすることができたのだと思います。自分を鍛えてくださり、親身に相談にのって励まし続けてくださった先生方に本当に感謝しています。

公募推薦という選択肢を考えられるようになったこと、英語の学力が確実に向上したことがトフルゼミナールに通ったことの収穫だとも思います。授業は周り人のレベルがとても高く良い刺激となりました。出願に必要なスコアがなかなか取得できず落ち込んだり悩んだりしたこともありましたが自分以上に自分のことを信じて応援してくれる先生方がいることがとても心強かったです。